



Home IP Services PATENTSCOPE® Patent Search



Search result: 1 of 1

## (WO/2002/021288) NETWORK SYSTEM, TERMINAL AND STORAGE MEDIUM USED THEREFOR, AND MAIL TRANSMISSION/RECEPTION SYSTEM

Biblio. Data Description Claims National Phase Notices Documents

### Latest bibliographic data on file with the International Bureau

**Pub. No.:** WO/2002/021288 **International Application No.:** PCT/JP2001/007706  
**Publication Date:** 14.03.2002 **International Filing Date:** 05.09.2001  
**Chapter 2 Demand Filed:** 06.04.2002

**IPC:** G06Q 10/00 (2006.01)

**Applicants:** DAI-ICHI TSUSHINSHA CO.,LTD. [JP/JP]; 2-12-21, Otowa Bunkyo-ku, Tokyo 112-0013 (JP) (*All Except US*).  
 IZUOKA, Yoshikazu [JP/JP]; 708-14, Shimotsuruma Yamato-shi, Kanagawa 242-0001 (JP) (*US Only*).  
 UENO, Yoshihisa [JP/JP]; 1535, Niizo Toda-shi, Saitama 335-0021 (JP) (*US Only*).  
 ARAKI, Naoya [JP/JP]; 5-3-16, Tsunashimanishi, Kouhoku-ku Yokohama-shi, Kanagawa 223-0053 (JP) (*US Only*).  
 SUGIYAMA, Fumihiko [JP/JP]; 4-11-25, Michinobechuo Kamagaya-shi, Chiba 273-0137 (JP) (*US Only*).  
 MATSUMOTO, Kenichiro [JP/JP]; 215-6, Noguki Kuki-shi, Saitama 346-0002 (JP) (*US Only*).

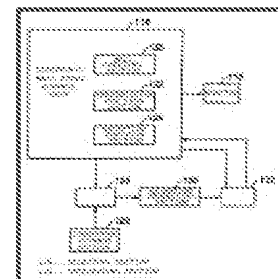
**Inventors:** IZUOKA, Yoshikazu [JP/JP]; 708-14, Shimotsuruma Yamato-shi, Kanagawa 242-0001 (JP).  
 UENO, Yoshihisa [JP/JP]; 1535, Niizo Toda-shi, Saitama 335-0021 (JP).  
 ARAKI, Naoya [JP/JP]; 5-3-16, Tsunashimanishi, Kouhoku-ku Yokohama-shi, Kanagawa 223-0053 (JP).  
 SUGIYAMA, Fumihiko [JP/JP]; 4-11-25, Michinobechuo Kamagaya-shi, Chiba 273-0137 (JP).  
 MATSUMOTO, Kenichiro [JP/JP]; 215-6, Noguki Kuki-shi, Saitama 346-0002 (JP).

**Agent:** INABA, Yoshiyuki; 8F 37 Mori Building, 5-1, Toranomon 3-chome Minato-ku, Tokyo 105-0001 (JP).

**Priority Data:** 2000-272205 07.09.2000 JP  
 2001-223607 24.07.2001 JP

**Title:** NETWORK SYSTEM, TERMINAL AND STORAGE MEDIUM USED THEREFOR, AND MAIL TRANSMISSION/RECEPTION SYSTEM

**Abstract:** A network system in which terminals are interconnected and each terminal can execute an application program and including control means for transmitting/receiving documents in association with characters. The control means classifies the characters and selects a character according to the selection made by a receiver.



**Designated States:** AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.  
 African Regional Intellectual Property Org. (ARIPO) (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW)  
 Eurasian Patent Organization (EAPO) (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM)  
 European Patent Office (EPO) (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR)  
 African Intellectual Property Organization (OAPI) (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

**Publication Language:** Japanese (JA)

Filing Language:

Japanese (JA)

(19) 日本国特許庁(JP)

## 再公表特許(A1)

(11) 国際公開番号

WO2002/021288

発行日 平成16年2月5日(2004.2.5)

(43) 国際公開日 平成14年3月14日(2002.3.14)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>

F I

G 0 6 F 13/00

G 0 6 F 13/00 6 1 0 F

G 0 6 F 15/00

G 0 6 F 13/00 6 2 5

G 0 6 F 15/00 3 1 0 A

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 26 頁)

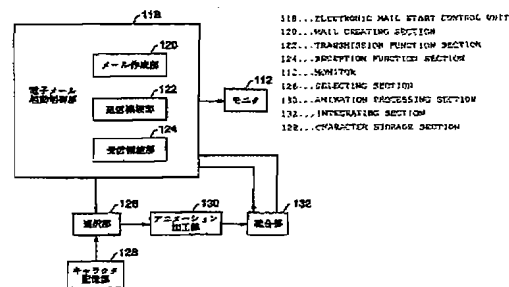
出願番号	特願2002-524833 (P2002-524833)	(71) 出願人	599177020
(21) 国際出願番号	PCT/JP2001/007706		株式会社第一通信社
(22) 国際出願日	平成13年9月5日(2001.9.5)		東京都文京区音羽2-12-21
(31) 優先権主張番号	特願2001-223607 (P2001-223607)	(74) 代理人	100079108
(32) 優先日	平成13年7月24日(2001.7.24)		弁理士 稲葉 良幸
(33) 優先権主張国	日本国(JP)	(74) 代理人	100080953
(81) 指定国	AP (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), EA (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OA (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW	(74) 代理人	100093861
			弁理士 田中 克郎
		(74) 代理人	100093861
			弁理士 大賀 真司
		(72) 発明者	泉岡 寛和
			神奈川県大和市下鶴間708-14
		(72) 発明者	上野 芳久
			埼玉県戸田市新層1535
		(72) 発明者	荒木 直弥
			神奈川県横浜市港北区綱島西5-3-16

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ネットワークシステム、これに使用される端末装置及び記憶媒体、並びにメール送受信システム

## (57) 【要約】

複数の端末装置が互いに接続され、各端末装置が文書とキャラクタとを連動させて送受信可能な制御手段を備えたアプリケーションプログラムを実行できるように構成されてなるネットワークシステムにおいて、前記制御手段は、前記キャラクタを分類し、受信者の選択に応じて、当該キャラクタを選択する。



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

複数の端末装置が互いに接続され、各端末装置が文書とキャラクタとを連動させて送受信可能な制御手段を備えたアプリケーションプログラムを実行できるように構成されてなるネットワークシステムにおいて、前記制御手段は、前記キャラクタを分類し、受信者の選択に応じて、当該キャラクタを選択する、ことを特徴とするネットワークシステム。

**【請求項 2】**

前記制御手段は、選択されたキャラクタと連動する文書内容に応じて、当該キャラクタに喜怒哀楽を表現させることを特徴とした請求項 1 記載のネットワークシステム。

**【請求項 3】**

請求項 1 乃至 2 記載の制御手段を前記端末装置に実行させるためのプログラムが記憶された記憶媒体。

**【請求項 4】**

メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メールアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、

複数のキャラクタを世代別に記憶するキャラクタ記憶手段と、

前記電子メール起動手段による電子メールの送信時に、手動又は自動的に前記キャラクタ記憶手段に分類記憶されたキャラクタを選択する選択手段と、

前記選択手段で選択されたキャラクタを、手動又は自動的にメール内容に基づく表情及び  
／又はアクションを付加して、当該メールに統合するキャラクタ統合手段と、  
を有する端末装置。

**【請求項 5】**

前記キャラクタ記憶手段に記憶されたキャラクタが、予め受信者に対応付けされており、受信者を選択することによって自動的にこの受信者に応じたキャラクタが選択されることを特徴とする請求項 4 記載の端末装置。

**【請求項 6】**

複数の端末装置が互いに接続され、各端末装置が文書とキャラクタとを連動させて送受信可能な制御手段を備えたメールアプリケーションプログラムを実行できるように構成されてなるネットワークシステムにおいて、

前記制御手段は、特定のブラウザを通じてコンテンツのダウンロードを発注すると共に発注したコンテンツを暗号化、もしくは独自エンコードされた状態で取得するための送受信機能と、

前記送受信機能によるコンテンツの発注から取得までの過程を、端末装置画面上で特定のキャラクタが運搬するが如く表現するキャラクタナビゲーション機能と、

電子メールに添付され独自 POP プロトコルにより提供されて、正規の受信者のみが開くことが可能な暗号化暗号化および独自エンコードされたコンテンツを解読するためのビューワーに基づいて暗号化コンテンツを解読する暗号解読機能もしくは、独自エンコード化コンテンツを解読する独自デコーダ機能と、を備えていることを特徴とするネットワークシステム。

**【請求項 7】**

請求項 6 記載の制御手段を前記端末装置に実行させるためのプログラムが記憶された記憶媒体。

**【請求項 8】**

メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メールアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、

特定のブラウザを通じてコンテンツを、当該発注者の電子メールアドレスを付加して発注するコンテンツ発注手段と、

前記コンテンツ発注手段により発注したコンテンツが暗号化もしくは独自エンコードされ

10

20

30

40

50

た状態で独自POPプロトコルにより配送されて添付されると共に、この暗号化もしくは独自エンコードされたコンテンツを解読可能なビューワーが独自POPプロトコルで受信を完了した時に添付された電子メールの受信時に、暗号化もしくは独自エンコードされたコンテンツを解読する暗号もしくはエンコード解読手段と、  
を有する端末装置。

【請求項 9】

前記受信した電子メールには、特定のキャラクタメーラーが存在しており、このキャラクタメーラーがモニタ画面上でコンテンツの配達、解読を実行するかの如く表現されることを特徴とする請求項 8 記載の端末装置。

【請求項 10】

メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、

前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、を備えたメール送受信システムにおいて、  
入力された文字メッセージを、割り当てられたキャラクタの特徴に依りて修飾することを特徴とするメール送受信システム。

【請求項 11】

メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、

前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、前記メール作成機能によって作成された文字メッセージを、単語単位に分解する単語分解手段と、

前記単語分解手段で分解した単語の意味又は機能を認識する認識手段と、  
認識手段で認識した単語の意味又は機能と、割り当てられたキャラクタと、に基づいて、同義かつ異なる言いまわしの文字メッセージとなるように文節変換する文節変換手段と、  
を有するメール送受信システム。

【請求項 12】

メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、

前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、を備えたメール送受信システムにおいて、

メールの送信者及び受信者側でスケジュール情報を交換するスケジュール交換手段と、  
送信者側のスケジュールを受信者側が許容した場合又は許容しない場合に、指定されたキャラクタを所定の動作を実行するキャラクタ動作制御手段と、  
を有するメール送受信システム。

【請求項 13】

メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、

前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、

を備えたメール送受信システムにおいて、

前記メール作成機能によるメール作成時に、同時にスケジュール機能を起動し、メール作

10

20

30

40

50

成画面とスケジュール表示画面を同時に表示する表示制御手段と、メール作成画面において、受信者側へアポイントをとるためのメッセージと、当該メッセージに割り当てられるキャラクタの動作と、を設定する送信メッセージ作成手段と、前記送信メッセージ作成手段により作成されたメッセージの受信者側の返事に対応する応対メッセージと、当該メッセージに割り当てられるキャラクタの動作と、を予め設定するリアクションメッセージ作成手段と、前記受信者側の応対に対応してスケジュールを自動更新するスケジュール更新制御手段と、を有するメール送受信システム。

【請求項 14】

10

前記請求項 10 乃至請求項 14 の何れか 1 項記載のメール送受信システムにおいて、受信者側の年齢層に応じて、送信者側で指定したキャラクタに対してデフォルメされたキャラクタを割り当てることを特徴とするメール送受信システム。

【請求項 15】

メッセージ作成機能、受信者を選択して送信するメッセージ送信機能、並びに、メッセージを受信するメッセージ受信機能を有するメッセージングアプリケーションソフトを起動するためのメッセージ起動制御手段と、複数のキャラクタを記憶するキャラクタ記憶手段と、前記電子メッセージ起動手段によるメッセージ送信時に、手動又は自動的に前記キャラクタ記憶手段に分類記憶されたキャラクタを選択する選択手段と、前記選択手段で選択されたキャラクタを、手動又は自動的にメッセージ内容に基づく表情及び／又はアクションを付加して、当該メッセージに統合するキャラクタ統合手段と、有する端末装置。

20

【発明の詳細な説明】

技術分野

本発明は、複数の端末装置が互いに接続され、各端末装置が文字とキャラクタとを連動させて送受信可能な制御手段を備えた電子メールアプリケーションプログラムを実行できるように構成されてなるネットワークシステム、これに使用される端末装置及び記憶媒体、コンピュータプログラム並びにメール送受信システムに関する。

背景技術

近年、パーソナルコンピュータの著しい普及により、電子メールを含むインターネット人口は激増しており、電子メール等は電話感覚で利用するまでになっている。また、ネットワーキング等も幅広く展開されており、インターネットは、全ての事業者にとって、ビジネスの基盤になることは明らかである。

30

ここで、個人使用として、前述の如く電話感覚で分散化が進む家族のネットワーク手段として進化するためには、最近の機器が使い易くなったとはいえ、依然として専門的な知識を有することが多く、所謂シルバー世代（家族でいえば、祖父母にあたる世代）や中高年世代（家族でいえば、父母の世代）には、例えば、キーボード上の専用のボタン 1 つでインターネットにアクセスできるほど、操作容易性に優れている機器も存在しているにも拘らず、購入を控えることになる。

また、文字のみで情報伝達すると、感情がうまく伝わらない場合もある。なお、フェイスマークと称される単純な文字組み合わせキャラクタ { (^ \_ ^ ) } は、こんにちはを表す も存在しているが趣興向上するには至っていない。

40

一方、ビジネス使用として、デジタルコンテンツの販売促進がなされており、ゲームソフトや音楽ソフトのダウンロード等がなされているが、ダウンロードが苦手な初心者やライトユーザーもかなり多く、手続きの複雑さや時間がかかるという理由がデジタルコンテンツ販売ビジネスのネックになっている。また、コンテンツホルダー側（販売元）から見れば、ダウンロードしたコンテンツが容易に複製される可能性もある。これを防止するためには、コンテンツを暗号化もしくは独自エンコードし、発注者であるユーザーに別途暗号もしくは独自エンコード解読用のビューワを何らかの方法（郵送等）で支給することが提案されているが、ユーザーにとっては、解読作業が増え、さらに操作が煩雑となる、という問題点がある。

50

また、キャラクタによってメールの送受信を行うメーラーアプリケーションが存在するが、キャラクタと文字メッセージとの対応付けがとれているものではなく、単にキャラクタの動きを楽しみ、文字メッセージは文字メッセージで読み取るのみであるため、キャラクタの必然性に欠けている。例えば、キャラクタが女性であるのに、文字メッセージは男性言葉であるとか、有名なキャラクタは独特な話し方をすることが周知であるのに、文字メッセージは全くこの周知な話し方になっていないため、違和感が生じる。

さらに、電子メールは、一般的に電話による会話を送受信者の都合のいい時期に返信するという点で非常にメリットがあるが、アポイントをとるような場合、迅速性に欠けるというデメリットがある。すなわち、電話では、「〇が×日のご都合はいかがですか？」という問いに対して、手帳等を見ながら「いいですよ。」とか「その日はちょっと都合が悪い

10

です。」等の返事を即答できるのに対して、電子メールでは、送信してから返信を待つことになる。最近では、携帯電話を用いて電子メールを送受信が可能であるため、従来よりは迅速性が向上しているが、用件が確定するまで送受信を複数回繰り返す必要がある。本発明の第1の目的は、パーソナルコンピュータ等を操作性からではなく、表示する画像から興味を持たせるような世代別のキャラクタを用いて、このキャラクタがモニタ画面上で電子メール等の送受信を行っているかの如く表現することで、飽きが来ず、かつ違和感なく入り込ませることで、世代を超えたコミュニケーションツールとして利用幅を拡大することができるネットワークシステム、端末装置及び記録媒体を得ることが目的である。

また、本発明の第2の目的は、デジタルコンテンツ販売ビジネスにおいて、ユーザー側の操作性向上、コンテンツホルダー側のダウンロード後の複製防止を両立することができる

20

ネットワークシステム、端末装置及び記録媒体を得ることが目的である。本発明の第3の目的は、文字メッセージに対して割り当てられるキャラクタに基づいて、文字メッセージを同義性を維持し、かつ言いまわしを自動的に変更することで、キャラクタと対応付け、違和感のないキャラクタメールアプリケーションを実現することができるメール送受信システムを得ることが目的である。

本発明の第4の目的は、スケジュール管理機能とリンクさせ、メール送受信によりアポイントをとるとき等における迅速性を向上することができるメール送受信システムを得ることが目的である。

#### 発明の開示

第1の発明は、複数の端末装置が互いに接続され、各端末装置が文書とキャラクタとを連動させて送受信可能な制御手段を備えたメールアプリケーションプログラムを実行できるように構成されてなるネットワークシステムにおいて、前記制御手段は、前記キャラクタを分類し、受信者の選択に応じて、当該キャラクタを選択する、ことを特徴としている。本第1の発明によれば、受信者のたとえば年齢層に則したキャラクタを選択するため、当該受信者の趣興を向上させることができる。すなわち、中高年齢層の受信者によって、なつかしいマンガキャラクタ等がモニタ画面上を動き回り、電子メールを届けるような動作を行うことで、現代の人気キャラクタや電子メールアプリケーションソフト用に開発されたキャラクタ等に比べ違和感がない分、操作意欲を持たせることができる。これにより、電子メールの普及に貢献することができる。

30

第1の発明において、前記制御手段は、選択されたキャラクタと連動する文書内容に応じて、当該キャラクタに喜怒哀楽を表現させることを特徴としている。

40

モニタ画面上に登場するキャラクタは、メール等の文書内容に応じた喜怒哀楽を表現する。例えば、うれしいときは笑顔、悲しいときは泣き顔としたり、非常にうれしいときは飛び跳ねたり、眠いときは居眠りをしたりさせることで、文書では表しきれない感情を表すことができる。

第2の発明は、前記制御手段を前記端末装置に実行させるためのプログラムが記憶された記憶媒体である。

第3の発明は、メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、複数のキャラクタを世代別に記憶するキャラクタ記憶手

50

段と、前記電子メール起動手段による電子メールの送信時に、手動又は自動的に前記キャラクター記憶手段に分類記憶されたキャラクターを選択する選択手段と、前記選択手段で選択されたキャラクターを、手動又は自動的にメール内容に基づく表情及び／又はアクションを付加して、当該メールに統合するキャラクター統合手段と、を有する端末装置である。

上記第3の発明の端末装置よれば、キャラクターを世代別に分類して記憶しておく。電子メール起動手段による電子メールの送信時に、キャラクターを選択する。

この選択されたキャラクターには、メール内容に応じた表情及び／又はアクションが付加され、メールに統合される。これにより、文字のみでは表現しきれない感情をキャラクターの動作に代えて送信することができる。この結果、受信者側では、メール内容を読むのみならず、キャラクターの動作を見るという新たな興味をもつため、老若男女に拘らず、すなわち

操作の苦手な中高年層にも扱い易くなり、複数の世代に亘るアクセスが可能となる。また、この端末装置において、前記キャラクター記憶手段に記憶されたキャラクターが、予め受信者に対応付けされており、受信者を選択することによって自動的にこの受信者に応じたキャラクターが選択されることを特徴としている。

すなわち、受信者を選択するときに、予め受信者とキャラクターとを対応付けしておけば、キャラクターの選択の手間を省くことができる。例えば受信者が高齢者の場合には、昔懐かしいマンガの主人公等を対応付けしておいたり、受信者が中高年者の場合には青春時代に流行っていたアニメキャラクターを対応付けておくことで、受信者は違和感なく電子メールを読み、かつモニタ画面を見ることができる。

第4の発明は、複数の端末装置が互いに接続され、各端末装置が文書とキャラクターとを連動させて送受信可能な制御手段を備えたアプリケーションプログラムを実行できるように構成されてなるネットワークシステムにおいて、前記制御手段は、特定のブラウザを通じてコンテンツのダウンロードを発注すると共に発注したコンテンツを暗号化もしくは独自エンコードされた状態で取得するための送受信機能と、前記送受信機能によるコンテンツの発注から取得までの過程を、端末装置画面上で特定のキャラクターが運搬するが如く表現するキャラクターナビゲーション機能と、電子メールに添付され独自POPプロトコルにより提供されて、正規の受信者のみが開くことが可能な暗号化暗号化および独自エンコードされたコンテンツを解読するためのビューワーに基づいて暗号化コンテンツを解読する暗号解読機能もしくは、独自エンコード化コンテンツを解読する独自デコード機能と、を備えていることを特徴とするネットワークシステムである。

第4の発明のネットワークシステムによれば、特定のブラウザを通じてゲームソフト、ビジネスソフト、出版ソフト、音楽ソフト等のコンテンツ（デジタルコンテンツ）のダウンロードを発注する。発注を受けたコンテンツホルダー側は、発注したコンテンツを暗号化もしくは独自エンコードし、独自POPプロトコルにより配信する。電子メールとして返信する。このとき、暗号を解読する、もしくは独自にデコードするためのビューワーによって発注者は、簡便な操作によって発注したデジタルコンテンツを取得することができる。また、これにより、ダウンロードしたコンテンツが複製されるような不具合を解消することができる。

第5の発明は、前記制御手段を前記端末装置に実行させるためのプログラムが記憶された記憶媒体である。

第6の発明は、メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メールアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、特定のブラウザを通じてコンテンツを、当該発注者の電子メールアドレスを付加して発注するコンテンツ発注手段と、前記コンテンツ発注手段により発注したコンテンツが暗号化もしくは独自エンコードされた状態で独自POPプロトコルにより配送されて添付されると共に、この暗号化もしくは独自エンコードされたコンテンツを解読可能なビューワーが独自POPプロトコルで受信を完了した時に添付された電子メールの受信時に、暗号化もしくは独自エンコードされたコンテンツを解読する暗号もしくはエンコード解読手段と、を有する端末装置である。

また、前記受信した電子メールには、特定のキャラクターメーラーが存在しており、このキ



キャラクタメーラーがモニタ画面上でコンテンツの配達、解読を実行するかの如く表現されることを特徴としている。

電子メールでの送信時、キャラクターナビゲーション機能により、特定のキャラクタメーラーが端末装置のモニタ画面上で、当該電子メールを運搬するかの如く表現させることで、ダウンロード中の待ち時間を埋める。このため、受信者はこのキャラクタの動きを見ることに集中し、時間が経つことを忘れさせることができる。なお、受信者側の指示によりキャラクタが暗号解読する仕種をモニタ画面上に表現してもよい。

第7の発明は、メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、を備えたメール送受信システムにおいて、入力された文字メッセージを、割り当てられたキャラクタの特徴に応じて修飾することを特徴とする。

10

また、メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、前記メール作成機能によって作成された文字メッセージを、単語単位に分解する単語分解手段と、前記単語分解手段で分解した単語の意味又は機能を認識する認識手段と、認識手段で認識した単語の意味又は機能と、割り当てられたキャラクタと、に基づいて、同義かつ異なる言いまわしの文字メッセージとなるように文節変換する文節変換手段と、を有している。

20

第7の発明によれば、キャラクタに応じて文字メッセージの言いまわしを自動変更する。この場合、同義であることは前提であるが、例えばキャラクタが有名であり、独特な言いまわし（話し方）が周知である場合、このキャラクタの言いまわしに変更することで違和感が解消する。

また、第8の発明は、メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、を備えたメール送受信システムにおいて、メールの送信者及び受信者側でスケジュール情報を交換するスケジュール交換手段と、送信者側のスケジュールを受信者側が許容した場合又は許容しない場合に、指定されたキャラクタを所定の動作を実行するキャラクタ動作制御手段と、を有している。

30

また、メール作成機能、受信者を選択して送信するメール送信機能、並びに、メールを受信するメール受信機能を有する電子メーラーアプリケーションソフトを起動するための電子メール起動制御手段と、前記受信した電子メールに、特定のキャラクタメーラーを割り当て、このキャラクタメーラーがモニタ画面上で文字メッセージを配達するかの如く表現するキャラクタ付加表示制御手段と、を備えたメール送受信システムにおいて、前記メール作成機能によるメール作成時に、同時にスケジュール機能を起動し、メール作成画面とスケジュール表示画面を同時に表示する表示制御手段と、メール作成画面において、受信者側へアポイントをとるためのメッセージと、当該メッセージに割り当てられるキャラクタの動作と、を設定する送信メッセージ作成手段と、前記送信メッセージ作成手段により作成されたメッセージの受信者側の返事に対応する対応メッセージと、当該メッセージに割り当てられるキャラクタの動作と、を予め設定するリアクションメッセージ作成手段と、前記受信者側の対応に対応してスケジュールを自動更新するスケジュール更新制御手段と、を有している。

40

第8の発明によれば、メール作成機能とスケジュール管理機能とのリンクにより、特にメールによるアポイントをとるためのやりとりを迅速に実行することができる。また、受信

50

者側の返事におうじて予めキャラクタの動作等を設定しておくことで、受信者側はあたかもリアルタイムに（チャットのように）会話しているように迅速なアポイントの設定が可能となる。

上記第7及び第8の発明において、受信者側の年齢層に応じて、送信者側で指定したキャラクタに対してデフォルメされたキャラクタを割り当ててることを特徴とする。

発明を実施するための好適な形態

（第1の実施の形態）

図1には、第1乃至第3の発明に係る端末装置100の概略構成図が示されている。

端末装置100は、パーソナルコンピュータ（以下、PCという）はもちろん、携帯電話、ポケットボード等のPDA（携帯情報端末）であってもよいが、ここではパーソナルコ 10  
ンピュータを例にとり説明する。

第1の実施の形態に係るPC（端末装置）100は、ハード構成としては、図1に示される如く、CPU102、RAM104、ROM106、I/Oポート108及びこれらを接続するデータバスやコントロールバス等のバス110で構成され、I/O108には、モニタ112、外部記憶装置（FDドライバやCDドライバ）114、プリンタ116、キーボード117等が接続された構成となっている。

ここで、第1の実施の形態では、このPC100を用いて電子メールアプリケーションソフトを起動させている。

電子メールアプリケーションソフトが起動しているときのシステム構成は、図2に示すように、電子メール起動制御部118が全体を総括するようになっている。 20

この電子メール起動制御部118には、メール作成部120、送信機能部122、受信機能部124が備えられており、電子メールの送受信が可能となっている。

また、この電子メール起動制御部118には、選択部126が接続されている。選択部126は、予め複数のキャラクタが記憶されたキャラクタ記憶部128から、特定のキャラクタが選択する役目を有している。

選択基準は、電子メール起動制御部118において設定した受信者に基づいている。すなわち、キャラクタ記憶部128では、複数のキャラクタが受信者に対応付けられて記憶されている。正確には、受信者の年齢に則したキャラクタが割当られている。例えば、シルバー世代と呼ばれる年齢層に該当する受信者には、昔なつかしマンガキャラクタが対応付けられ、中高年層に該当する受信者には、青春時代に夢中になったヒーローやヒロインの 30  
アニメーションキャラクタが対応付けられ、若年層に該当する受信者には、現在最も人気を博しているキャラクタが対応付けられている。

すなわち、第1の実施の形態の電子メールアプリケーションソフトでは、分散化した3世代以上の家族間のコミュニケーションツールとして適用されることを目的としており、各世代に適合したキャラクタを文字メールに付加して送信することで、いままで電子メールに興味がない、あるいは拒絶反応を起こしていた世代に対して、電子メールの操作容易性を認識させる工夫がなされている。

選択部126で選択されたキャラクタは、アニメーション加工部130へ送られるようになっている。このアニメーション加工部130では、電子メール起動制御部118のメール作成部120で作成した文字メールに基づいて、キャラクタの表情やアクションが設定 40  
される。

アニメーション加工部130で表情やアクションが加味されたキャラクタは、統合部132へ送られるようになっている。この統合部132には、前記電子メール起動制御部118のメール作成部120で作成された文字メールが入力されており、この文字メールとキャラクタとが統合された後、再度電子メール起動制御部118へ送られるようになっている。

このようにして完成したキャラクタ付き電子メールは、図3に示される如く、送信機能部122によってプロバイダ134によって接続されたインターネット136を介して、指定したアドレスに対応するメールサーバー138へ送信されるようになっている。メールサーバー138では、添付されたIDに基づいて蓄積され、他の端末装置100A（同一 50

の電子メールツールを搭載している端末装置)からのアクセスにより、当該電子メールを送出することになる。

キャラクタ付き電子メールを受け取った端末装置100Aでは、この電子メールを開くことにより、文字のみならず、キャラクタの表情やアクションによって、文字では表現できない感情まで受け取ることができる。

また、受信側の世代に合わせてキャラクタを選択しているため、いままで無関心であった、シルバー世代や中高年世代の年齢層にも違和感なく対応が可能となり、操作性としては極めて簡単となった電子メールの普及に貢献することができる。

また、選択するキャラクタとしては、マンガやアニメーションのキャラクタではなく、受信者又は送信者の似顔絵を用いてもよい。

10

(第2の実施の形態)

図4には、第3乃至第6の発明に係るネットワークシステムの実施形態(第2の実施の形態)が示されている。

第2の実施の形態のネットワークは、インターネット200を介しており、端末装置202は、プロバイダ204を介してインターネット200に接続されることで、インターネット200へのアクセスが可能となる。インターネット200には、個人の端末装置200の他、デジタルコンテンツホルダー(サーバー)206が接続されている。このデジタルコンテンツホルダー206は、デジタルコンテンツの販売元であり、インターネット200を介して受注し、アップロードすることでビジネスを運用している。

デジタルコンテンツとは、ゲームソフトやビジネスソフト、出版ソフト、音楽ソフト等のデジタル化された情報の商品であり、物理的に品物を受注して発送するオンラインショッピングとは異なるものである。

20

一般的に個人がインターネット200に接続する場合は、ダイヤルアップIP(Internet Protocol)接続によっておこなわれる。すなわち、その都度、プロバイダ204に電話をかけて接続するようになっている。

これに対して、前記デジタルコンテンツホルダー206のようなインターネット200から注文を受ける場合には、24時間オープンが基本であり、専用線IP接続によってインターネット200に接続されている。

一般個人ユーザーは特定のブラウザ(例えばwww(World Wide Web)ブラウザ)により、第2の実施の形態のデジタルコンテンツホルダー206が開設している販売用ホームページとアクセス可能となっている。

30

一般個人ユーザーは、この販売用ホームページを見て、発注することになるが、発注側のユーザーは、当然アドレスを持っており、発注の指定と同時にアドレスがデジタルコンテンツホルダー206へ送られる。

デジタルコンテンツホルダー206には、受注制御部207と、メールサーバー208と、コンテンツサーバー210と、発送制御部211と、が備えられている。ここで、従来はコンテンツサーバーのみを備えているのみであり、受注した内容に基づいて、コンテンツサーバーから発注した個人ユーザーへダウンロードするのが基本であった。

この場合、ダウンロードしている途中で、インターネット200を介する以上、他の端末装置でもダウンロードが可能となるため、暗号化して送信することがなされていた。しかし、この暗号化してダウンロードした発注者としては、別途受け取る解読用のビューソフトに基づいて解読をせざるを得ない状況となっていた。

40

これに対して、第2の実施の形態では、受注したメールサーバー208とコンテンツサーバー210とを連携させており、受注制御部207で発注を受けると、メールサーバー208から受け取った発注内容に基づいてコンテンツサーバー210へアクセスし、電子メール(キャラクターメーラー)として発送制御部211から発注側の端末装置200へ送出する構造となっている。また、このとき、キャラクターメーラーには、暗号化もしくは独自エンコード化されたデジタルコンテンツの解読用ビュー等によって、自動的に暗号が解読され、かつ独自エンコードのデコードがなされることで、デジタルコンテンツは、発注した端末装置200のユーザーのみが開くことができ、複製等の著作権法を侵すよう

50

な自体を防止することができるようになっている。

キャラクターメーラーには、前記第1の実施の形態で説明したようにキャラクタが付加されており、端末装置200のモニタ202Mの画面上では、このキャラクターメーラーがダウンロードから暗号もしくは独自エンコード解読までを独自の動作で実行している過程を表現するようになっており、ダウンロードにかかる時間、解読にかかる時間が多少長くても、ユーザーは、モニタ画面上のキャラクターメーラーを見入ることで、時間の経過を忘れさせることができる。

図6には、暗号もしくは独自のエンコードとその解読のためのプロトコルモジュールの構造が示されている。

このモジュール構造では、通常のPOP3プロトコル機能を持っており、電子メールソフトウェア本体300によってSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) クライアントモジュール302を介して、コンテンツホルダーであるSMTPサーバ304へアクセスする。

また、SMTPサーバ304と共に、コンテンツホルダーを構成するPOPサーバ (コンテンツ・オン・デマンド・サーバ) 306は、通常のPOP308及び独自POP310を介して電子メールソフトウェア本体300と接続されている。

ここで、独自POP310における機能では、デジタルコンテンツの発注者 (クライアント) が前記通常のPOP308でのプロトコルのアクセスのレスポンスにより、専用のサーバであることを認識する。この認識によって、動的に独自POP310のプロトコル機能に移行する。

また、独自POP210における機能では、通常のPOP308でのプロトコルがプル方のプロトコルであり、POPサーバ306からデータをプルするのみであるのに対して、クライアントからPOPサーバ306へデータ等をアップロードできる。

さらに、独自POP310における機能では、POPサーバ306からクライアントでデータ等を配信する際に、データ等を暗号化、独自エンコード化を行うが、その暗号化、独自エンコード化されたタイプ (暗号化タイプ、エンコード化タイプ) を当該配信時に報知するようにしている。これにより、暗号解読・独自デコード部312により、暗号が解読され、かつデコードされた後、電子メールソフトウェア本体300へ配信される。図5には、上記デジタルコンテンツの発注からダウンロードまでの通信プロトコルが示されている。

まず、本実施の形態におけるキャラクターメーラー (図6における電子メールソフトウェア300に準ずる) を持つユーザーの端末装置から、例えば、wwwブラウザを通じて、所定のデジタルコンテンツホルダー206へアクセスする。

デジタルコンテンツホルダー206では、オーダー情報 (受注情報) をデータベースに登録し、検索キー情報を電子メールとして送付する。この送付は、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) によってユーザー契約のメールサーバ212のアドレスへ送られる。

メールサーバ212の内容は、ユーザーがPOP (Post Office Protocol) でメールサーバ212へアクセスすることで、受け取ることができ、この場合の検索キーもこの方法で受け取る。すなわち、ユーザー独自のID及びパスワードがなければこの検索IDを取得することができないように工夫されている。

ユーザーは、取得した検索キーを使用して、発注したデジタルコンテンツホルダー独自のPOPによってアクセスすることで、デジタルコンテンツホルダー206側では、この検索キーを元に、データベース (コンテンツサーバ206) から該当するコンテンツを取得し、ついで、このコンテンツを暗号化もしくは独自エンコードし、並びに暗号解読キーもしくはパスワードキーを生成する。

その後、独自のPOPによってコンテンツ (暗号化もしくは独自エンコード化) と暗号解読キーもしくはパスワードキーをユーザーへ返信する。

ユーザー側では、暗号化されたコンテンツを取得すると、同送の暗号解読キーもしくはパスワードキーによりコンテンツの暗号化を解除し、コンテンツを所定のフォルダに格納す

る。このとき、メールとしてコンテンツが配信されるため、自動的に暗号化もしくはエンコード化されたコンテンツを開くことができる。

言い換えると、第三者がこのコンテンツを取得しても、同一のメーラーを所有していないと、コンテンツを開くことができないことになる。

以上が一連のデジタルコンテンツの取得のための通信プロトコルであり、検索キーを受け取る際に、ユーザーが定常的に使用しているメールサーバーを介することで、ユーザーしか知り得ない、ID及びパスワードを活用することができ、ユーザーにとっても販売元にとっても安全を加味したビジネスが可能となる。

また、キャラクターメーラーを用いることで、幅広い世代に対して、それぞれに興味を持たせることが可能なキャラクターを選択すると共に、当該キャラクターに感情やアクションを付加することで、ダウンロードや暗号解読のための時間中に飽きさせない工夫をこらしたため、デジタルコンテンツ販売ビジネスの促進につなげることができる。

なお、世代別のキャラクターの代表としては、シルバー世代では「のらくろ」、中高年世代では巨人の星、仮面ライダー、若年層ではセーラームーン等が挙げられる。

#### (第3の実施の形態)

以下に、本発明の第3の実施の形態について説明する。なお、第3実施の形態において、前記第1の実施の形態と同一構成については同一の符号を付してその構成の説明を省略する。

図7に示される如く、第3の実施の形態に係るPC(端末装置)100(図1と同一構成)を用いて電子メールアプリケーションソフトを起動させている。

電子メールアプリケーションソフトが起動しているときのシステム構成は、図8に示すように、電子メール起動制御部318が全体を総括するようになっている。

この電子メール起動制御部318には、端末装置100側としてのメール作成部320、送信機能部322、受信機能部324が備えられており、電子メールの送受信が可能となっている。

また、この電子メール起動制御部318には、メールサーバ138(図9参照)側としての選択部326が接続されている。選択部326は、予め複数のキャラクタが記憶されたキャラクタ記憶部328から、特定のキャラクタが選択する役目を有している。

選択基準は、電子メール起動制御部318において設定した受信者、或いは受信者に予め関連付けたキャラクタに基づいている。すなわち、キャラクタ記憶部328では、複数のキャラクタが受信者に対応付けられて記憶されている。正確には、受信者の年齢に則したキャラクタが割り当てられている。例えば、シルバー世代と呼ばれる年齢層に該当する受信者には、昔なつかしマンガキャラクタが対応付けられ、中高年層に該当する受信者には、青春時代に夢中になったヒーローやヒロインのアニメーションキャラクタが対応付けられ、若年層に該当する受信者には、現在最も人気を博しているキャラクタが対応付けられている。

選択部326で選択されたキャラクタは、アニメーション加工部330へ送られるようになっている。このアニメーション加工部330では、電子メール起動制御部318のメール作成部320で作成した文字メールに基づいて、キャラクタの表情やアクションが設定される。

アニメーション加工部330で表情やアクションが加味されたキャラクタは、統合部332へ送られるようになっている。この統合部332には、前記電子メール起動制御部318のメール作成部320で作成され、かつ文体変換部334(後述)を介して文字メールが入力されており、この文体変換部334で文体が変換された文字メールとキャラクタとが統合された後、再度電子メール起動制御部318へ送られるようになっている。

文体変換部334は、図10に示される如く、入力された文字メールの文章を名詞、助詞、形容詞、動詞等の単語に分解する単語分解部350を備えており、センテンス毎に単語分解される。例えば、「君の明日の予定はどう?」という文字メールは、「君」、「の」、「明日」、「の」、「予定」、「は」、「どう」、「?」とに分解される。

単語分解部350は、前記分解された単語をメールサーバ138側の単語解析部352

10

20

30

40

50

に送出する。単語解析部352には、単語辞書部354が接続されており、各単語の意味や機能が解析されるようになっている。

解析された単語は、単語書換部356に送出されるようになっている。この単語書換部356には、前記選択部326から選択されたキャラクタ情報が入力されている。また、この単語書換部356には、書換候補データベース358が接続されている。すなわち、解析された単語の意味や機能を、選択されたキャラクタに合わせて、キャラクタの話し方に応じて書換候補データベース358から、同等の意味や機能を持つ最適な言いまわしを選択し、変換する。

単語書換部356では、例えば、前記「君」、「の」、「明日」、「の」、「予定」、「は」、「どう」、「?」のそれぞれの単語が、選択されたキャラクタに応じて、『あなた』、『の』、『明日』、『の』、『予定』、『は』、『いかがですか』、『。』に変換される。 10

また、同様に「今度遊びに行こうよ」という元の文字メールが、選択されたキャラクタに応じて、『ダーリン、今度一緒に遊びにいくだっちゃ』に変換されたり、「君はどこにすんでるの?」が『ダーリンはどこにすんでるちゃ?』に変換される。

さらに、別のキャラクタが選択された場合は、元の文字メールが「そのことないでしょ」が『そのことないのだ!!』に変換されたり、「またこんどよろしくね」が『またこんどよろしくなのだ!!』に変換される。

変換された単語は、端末装置100側の単語組立部360に送出され、書換えられた単語による文体の文字メールが組立てられ、前記統合部332へ送出される。 20

このようにして完成したキャラクタ付き電子メールは、送信機能部322によって、図9に示されプロバイダ134によって接続されたインターネット136を介して、指定したアドレスに対応するメールサーバー138へ送信されるようになっている。メールサーバー138では、添付されたIDに基づいて蓄積され、他の端末装置100A（同一の電子メールツールを搭載している端末装置）からのアクセスにより、当該電子メールを送出することになる。

キャラクタ付き電子メールを受け取った端末装置100Aでは、この電子メールを開くことにより、文字のみならず、キャラクタの表情やアクションによって、文字では表現できない感情まで受け取ることができる。

さらに、文字の文体がキャラクタに合わせて変換されているので、キャラクタとの違和感がない文体で端末装置100からのメッセージを認識することができる。 30

図11(A)に基づき、端末装置100（クライアントA）から端末装置100A（クライアントB）へメールを送信する際の通信プロトコルの手順を説明する。

クライアントAでは、文字メッセージ入力が行われる（ステップ370）。このステップ370では、文字メッセージ入力の他、メールサーバ138側で対応付けられている受信者とキャラクタ以外のキャラクタの選択も可能である。

この文字メッセージの作成が行われると、これがメールサーバ138に送信され、ユーザチェック（ここでは、送受信者であるクライアントA及びB）が行われる（ステップ372）。このステップ372でのユーザチェックが完了すると、クライアントAには受理確認信号を送出する。 40

メールサーバ138では、受け取った文字メッセージに基づいて、当該文字メッセージを単語単位に分解（文節変換）する（ステップ374）。分解された単語は、メールサーバ138に設けられた単語解析部352、単語書換部356、単語辞書部354等により、単語の意味や機能の解析、並びにキャラクタとの対応（問い合わせ）が行われる（ステップ376）。

次に、ステップ376での問い合わせによって選定された単語に基づいて文字メッセージを書き換え（ステップ378）、クライアントBへ文字メッセージを送信する。

クライアントBでは、受信した文字メッセージを受信すると（ステップ380）、その文字メッセージが表示されると共に（ステップ382）、メールサーバへ受信確認信号が送出され、メールサーバ138では、これに応じてクライアントAに前記受信確認信号が送 50

出されることで、クライアントAでは送信確認の表示が実行される（ステップ384）。なお、上記では、文体の言いまわしの変換を、端末装置100で実行したが、メールサーバ138側で実行するようにしてもよい（図11（B）参照）。この場合、単語の解析（辞書問い合わせ）はクライアントA側で実行され、キャラクタとの対応付けはメールサーバ138側で実行される（ステップ376A、376B）

#### （第4の実施の形態）

以下に、本発明の第4の実施の形態について説明する。この第4の実施の形態の特徴は、前記第1乃至第3の実施の形態で説明したキャラクタ付加機能や、文字メッセージの文体変換機能に、スケジュール交換機能を追加することである。

以下では、前記第3の実施の形態の変形として構成を説明する。なお、第3実施の形態と同一構成については同一の符号を付してその構成の説明を省略する。

図12に示される如く、電子メール起動制御部318には、スケジュール管理制御部400が接続されている。

スケジュール管理制御部400では、基本的には端末装置100のユーザーがキーボード117等で入力したスケジュール情報が日時を基準として管理され、必要に応じて表示、プリント、検索、編集等が可能となっている。

本第4の実施の形態では、このスケジュール管理制御部400によって管理されるスケジュールを、メールを送信して、当該メールの宛先とのアポイントをとる場合に、その結果を自動的に更新する。

上記アポイントをとるためのメール作成画面は、モニタ112に表示されるようになっており。図13には、このモニタ112に表示されるアポイント作成画面112Aが示されている。

画面112Aは、左右に分割されており、左側の画面112ALEFTは、通常のスケジュール管理制御部400で管理された情報の表示画面となっており、例えば、図13では、2001年、7月21日（土曜日）のスケジュールが表示されている。すなわち、7月21日（土曜日）は、10:00～12:00までが、免許の書換えのための住民票を市役所へとりに行くことと、14:30～17:00までが〇〇デパートへ水着を買いに行くことが、すでに入力されていることになる。

一方、画面112Aの右側の画面112ARIGHTには、本第4の実施の形態に係るアポイントメール作成用の画面となっている。

この画面112ARIGHTは、2画面構成となっており、アポイントページタブ402と、リアクションページタブ404との何れかにポインタ（図示省略）を対応させマウスクリック操作をすることで、それぞれの画面に切り替えることができる。

図13に示される如く、アポイントページは、宛先設定部406、日程設定部408、キャラクタ設定部410及びメッセージ入力部412とで構成されている。キャラクタ設定部410では、キャラクタの種類、アクション、アイテムがそれぞれ選択可能となっている。

また、アポイントページには、設定した日時以外でもよいことを意思表示するためのチェックボックス414が設けられている。

一方、図14に示される如く、リアクションページは、アポイントをとる相手の返事（「はい」又は「いいえ」）のそれぞれのときのリアクションを予め設定する画面構成となっている。

すなわち、「はい」のときのキャラクタ設定部416、メッセージ入力部418と、「いいえ」のときのキャラクタ設定部420と、メッセージ入力部422とが設けられている。

以下に第4の実施の形態の作用を説明する。

まず、図15に従い、第4の実施の形態の全体の流れを説明する。まず、ステップ424では、モニタ112へカレンダー表示が行われる（図13に示す画面112A）。この表示されたカレンダーから所定の日にちをクリックすることで、モニタ112に図13に示す画面112Aが表示される。

次にステップ426では、この画面112Aの右側の画面112ARIGHTにアポイントページを表示させ、宛先設定部406において宛先の入力、日程設定部408において日程の設定（デフォルト表示されており、変更可能）及び時間の入力、キャラクタ設定部410においてキャラクタの指定、アクション指定、アイテム指定、並びにメッセージ入力部412でメッセージの入力が実行される。

次に、ポインタをリアクションページタグに合わせてクリックすることで、リアクションページ画面を表示させる（ステップ428）。

このリアクションページ画面において、図14に示すように、回答が「はい」のときのキャラクタ、アクション、アイテムをキャラクタ設定部416で設定すると共に、メッセージをメッセージ入力部418で入力する。また、回答が「いいえ」のときのキャラクタ、アクション、アイテムをキャラクタ設定部420で設定すると共に、メッセージをメッセージ入力部422で入力する。

設定が完了した後は、ステップ430でプレビューした後、あるいは直接ステップ432で送信を実行する。

次に、前記送信したアポイントをとるためのメールを受信した受信側での流れを図16に従い説明する。

受信者側で、メールの受信操作を行うと、まずキャラクタが登場し（ステップ434）、次いでカレンダーが出現する（ステップ436）。その後、キャラクタが送信者側に指定したアポイント日を指示し（ステップ438）、前記アポイントページで入力したメッセージが表示され、前記アポイントページで設定されたキャラクタ動作を実行する（ステップ440）。

これを見て、受信者側では、「はい」、「いいえ」、「まだわからない」の何れかの返事を選択する（ステップ442）。

（「はい」を選択した場合）

ステップ442で「はい」が選択されると、送信者側が予め設定した「はい」のときのキャラクタが所定のリアクション動作をすると共に、メッセージが表示される（ステップ444）。なお、このステップ444に記載した指定メッセージ▲2▼とは図15のメッセージ入力部418で入力したメッセージであり、指定動作▲2▼とは図15のキャラクタ設定部416で設定した動作である。

次に、受信者側のスケジュール管理プログラムが自動的に起動し（ステップ446）、アポイント日時に自動的に反映される（ステップ448）。

また、受信者側は、独自の返信をする場合は、送信者側と同様にキャラクタの指定、アクションの指定、アイテムの指定とメッセージを作成して送信を実行する（ステップ450、ステップ452）。

また、この受信者の返信とは別に、自動的に送信者側に報告（図17に示す報告▲1▼）が実行される（ステップ454）。

（「いいえ」を選択した場合）

ステップ442で「いいえ」が選択されると、送信者側が予め設定した「いいえ」のときのキャラクタが所定のリアクション動作をすると共に、メッセージが表示される。なお、このステップ456に記載した指定メッセージ▲3▼とは図15のメッセージ入力部422で入力したメッセージであり、指定動作▲3▼とは図15のキャラクタ設定部420で設定した動作である。

受信者側は、独自の返信をする場合は、送信者側と同様にキャラクタの指定、アクションの指定、アイテムの指定とメッセージを作成して送信を実行する（ステップ450、ステップ452）。

また、この受信者の返信とは別に、自動的に送信者側に報告（図18に示す報告▲2▼）が実行される（ステップ454）。

（「まだわからない」を選択した場合）

ステップ442で「まだわからない」が選択されると、「いつわかるの？」というメッセージが表示されると共に日にち指定のためのウィンドウを開く（ステップ456）。この



ウィンドウに表示された内容に応じて、受信者側で日にち又はこちらから連絡する旨を選択する（ステップ458）。

日にちが選択されると、キャラクターの返事として「その時またくるね」というメッセージを表示し（ステップ460）、自動的に送信者側に報告（図19に示す報告▲3▼）が実行される（ステップ454）。

また、「こちらから連絡」が選択されると、キャラクターの返事として「わかった！忘れないでね。」というメッセージを表示し（ステップ462）、自動的に送信者側に報告（図20に示す報告▲4▼）が実行される（ステップ454）。

なお、返事が「いいえ」の場合、アポイントページにおいて、設定した日時以外でもよいことを意思表示するためのチェックボックス414がチェックされていたときは、送信者側のメッセージの後に「違う日でも大丈夫？」というメッセージを付加して表示し（ステップ464）、この「違う日でも大丈夫？」に対する返事（「はい」又は「いいえ」）が決定する。なお、このステップ464に記載した指定メッセージ▲3▼とは図15のメッセージ入力部422で入力したメッセージであり、指定動作▲3▼とは図15のキャラクター設定部420で設定した動作である。

「別の日なら大丈夫？」に対する返事が「いいえ」の場合は、前記もともとの「いいえ」の返事と同様に、受信者側独自の返信（ステップ450、452）と、報告（図17の報告▲1▼）が実行される（ステップ454）。

一方、「違う日でも大丈夫？」に対する返事が「はい」の場合は、カレンダーが表示され（ステップ466）、次いで日にち選択と、選択した日にちの所謂ダブルブッキング等の確認（確認アラート）が実行され（ステップ468、470）、問題なければ報告（図18の報告▲2▼）が実行される（ステップ454）。

図17乃至図20は送信者側での報告▲1▼乃至▲4▼の表示例であり、この場合、アポイント結果報告に加え、受信者側の接続ログ等（送信回数や受信回数、アポイントの成功、失敗数等）を併せて表示しているが、特にこのような表示である必要はない。

上記第4の実施の形態によれば、送信者側において設定したキャラクターがメッセージを受信者側へ送ると共に、そのメッセージがアポイントをとるため等、返事が必要なメッセージの場合において、その返事の内容に応じて、リアクションやメッセージを予め設定しておくことで、何度もメールを送受信するような面倒な作業が不要となり、操作性が向上する。また、端末装置100（又は100A）に基本的に搭載されているアプリケーションであるカレンダーやスケジュール機能とリンクさせ、自動的にアポイント日時を自動更新したり、ダブルブッキング等の不具合を確認することができるため、スケジュール管理機能を充実させることができる。

なお、上記第1乃至第4の実施の形態において、指定されたキャラクターを受信者の年齢等に関係なく送信するようにしたが、例えば、年齢制限フィルター等を設けることで、幼年層には不向きなキャラクター、若年層には刺激の強いキャラクター、老年層には理解できないキャラクター等年齢別にキャラクターを自動変更するようにしてもよい。

例えば、図21に示される如く、送信者（端末装置100）からAキャラクターで送信した場合、このAキャラクターがリアルな妖怪の姿であり、受信者（端末装置100A）の年齢が幼年層であると、認証サーバ（メールサーバ138）において、AキャラクターをA'キャラクターに変更して送信する。A'キャラクターは、Aキャラクターを幼年層でも利用可能にデフォルメしたキャラクターである。

なお、前記実施例では、キャラクターの送信をメール機能を有して説明した。この例ではクライアント間のメールサーバがインターネットを介して接続されている。キャラクター（コンテンツ）データは各クライアント側に保存されている。テキスト及びコンテンツの動作命令（挙動、音声）が送信元からメールサーバ及びインターネットを介して送信先のクライアントへ送信する。

このメール機能に変えてメッセージング機能を利用することも可能である。メッセージング機能では、各クライアントはインターネットを介して中央のメッセージングサーバに接続されている。メッセージングサーバには各キャラクターの画像データが保存されて

10

20

30

40

50

いる。各クライアントでキャラクタの吹き出しの文書をテキスト文で作成し、かつキャラクタの挙動等の制御信号とともに、これをメッセージャーサーバーに送る。メッセージャーサーバーは、テキスト文とキャラクタの画像（静止画、動画）データとキャラクタの動作制御信号とを共に送信先に送る。送信先のクライアントは、キャラクタの動画をテキストが付された吹き出しとともに再生する。

#### 発明の利用性

以上説明した如く、第1乃至第3の発明によれば、パーソナルコンピュータ等を操作性からではなく、表示する画像から興味を持たせるような世代別のキャラクタを用いて、このキャラクタがモニタ画面上で電子メール等の送受信を行っているかの如く表現することで、飽きが来ず、かつ違和感なく入り込ませることで、世代を超えたコミュニケーションツ 10  
ールとして利用幅を拡大することができる。

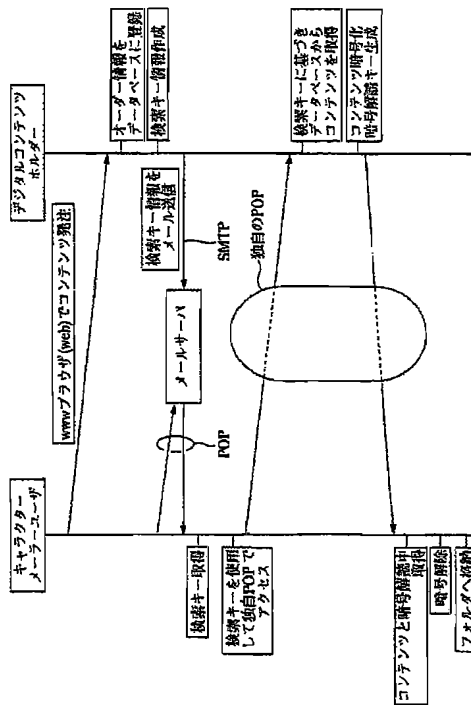
また、第4乃至第6の発明によれば、デジタルコンテンツ販売ビジネスにおいて、ユーザー側の操作性向上、コンテンツホルダー側のダウンロード後の複製防止を両立することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

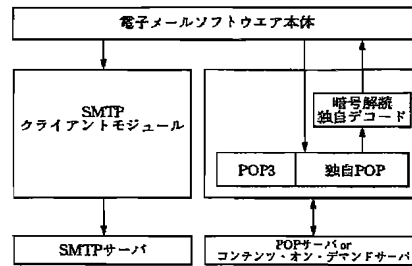
図1は、第1の実施の形態に係る端末装置のハード構成図である。図2は、電子メールアプリケーションソフトの起動時の機能構成図である。図3は、ネットワークの概略図である。図4は、第2の実施の形態に係るシステム概略図である。図5は、図4のシステムにおける通信プロトコルを示す概略図である。図6は、独自POPプロトコルモジュールの構造図である。図7は、第3の実施の形態に係る端末装置のハード構成図である。図8は 20  
、電子メールアプリケーションソフトの起動時の機能構成図である。図9は、ネットワークの概略図である。図10は、第3の実施の形態に係る文体変換部を構成する制御ブロック図である。図11は、第3の実施の形態に係る送受信のための通信プロトコルである。図12は、第4の実施の形態に係る端末装置のハード構成図である。図13は、第4の実施の形態に係るモニタ画面の一例を示す正面図（アポイントページ）である。図14は、第4の実施の形態に係るモニタ画面の一例を示す正面図（リアクションページ）である。図15は、第4の実施の形態に係るメール送受信制御ルーチンを示すフローチャートである。図16は、受信側における回答制御ルーチンを示すフローチャートである。図17は、図16のステップ454における報告▲1▼の一例を示すフローチャートである。図18は、図16のステップ454における報告▲2▼の一例を示すフローチャートである。 30  
図19は、図16のステップ454における報告▲3▼の一例を示すフローチャートである。図20は、図16のステップ454における報告▲4▼の一例を示すフローチャートである。図21は、キャラクタに対する年齢フィルタをかけた場合のシステム図である。



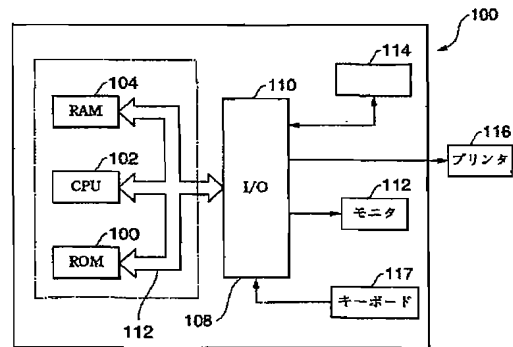
【图5】  
图5




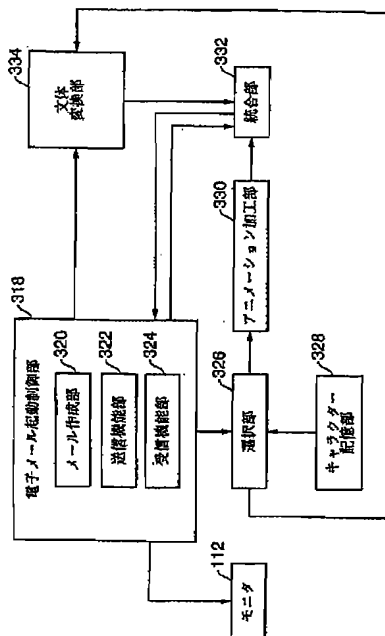
【図 6】  
図6



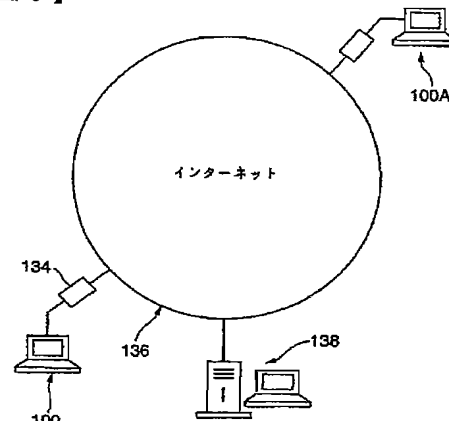
【图 7】  
图7



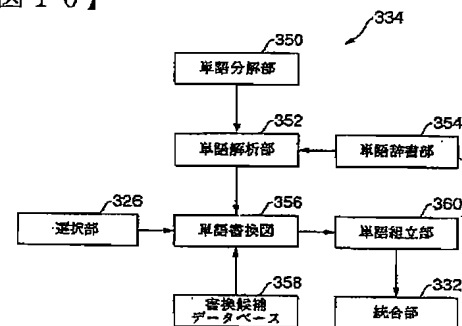
【图 8】 



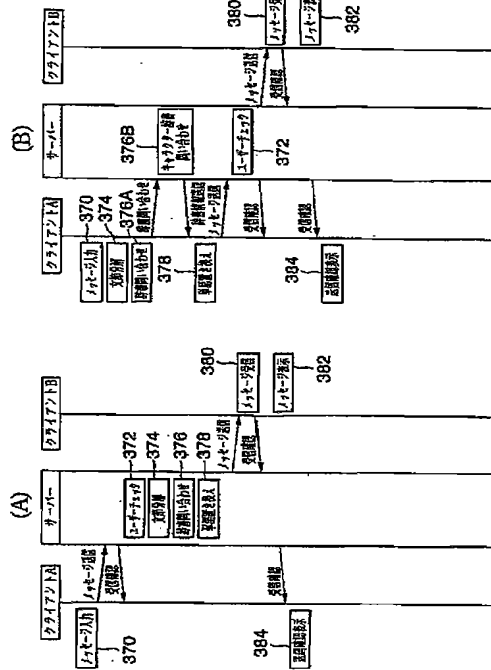
【图 9】



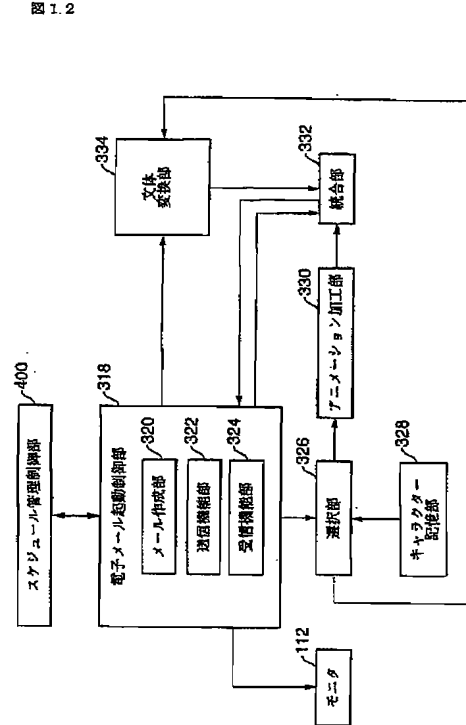
【図 10】



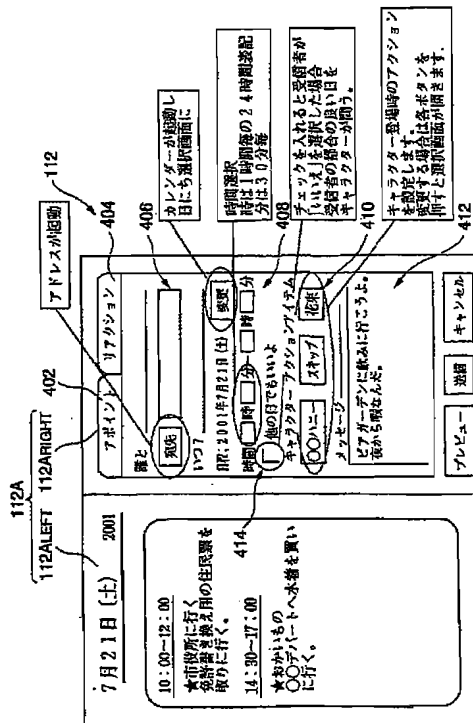
【図 1 1】



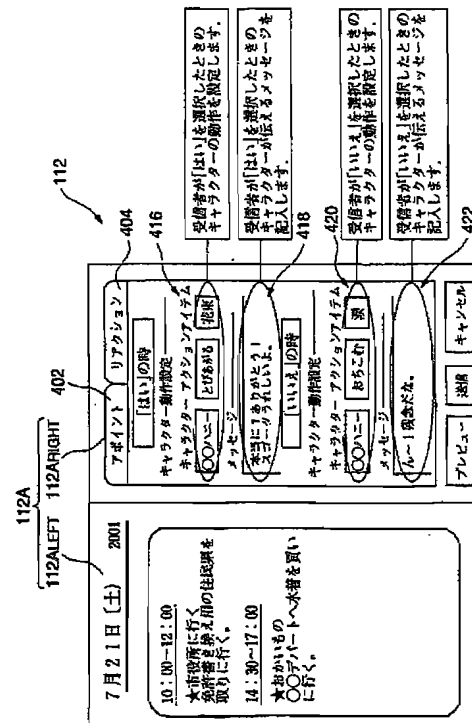
【図 1 2】



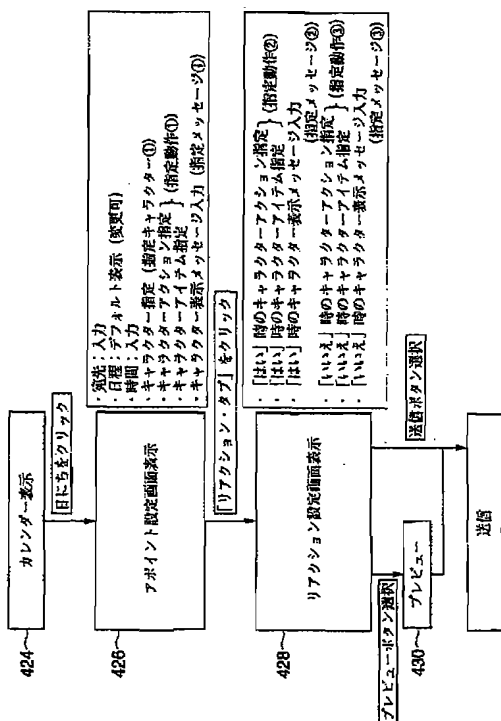
【図 1 3】



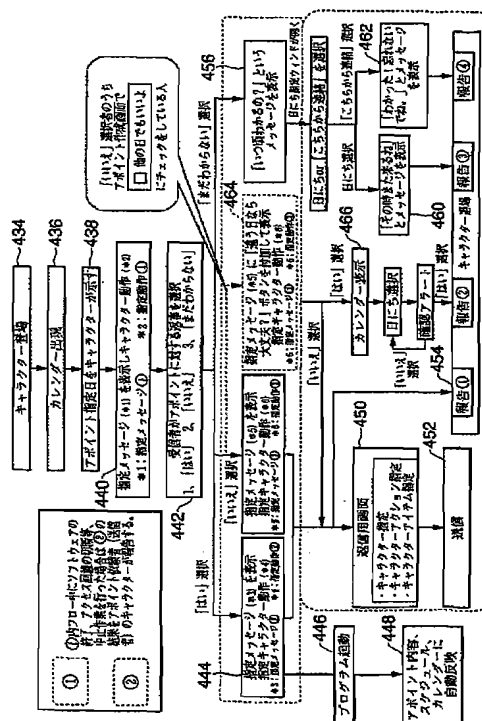
【図 1 4】



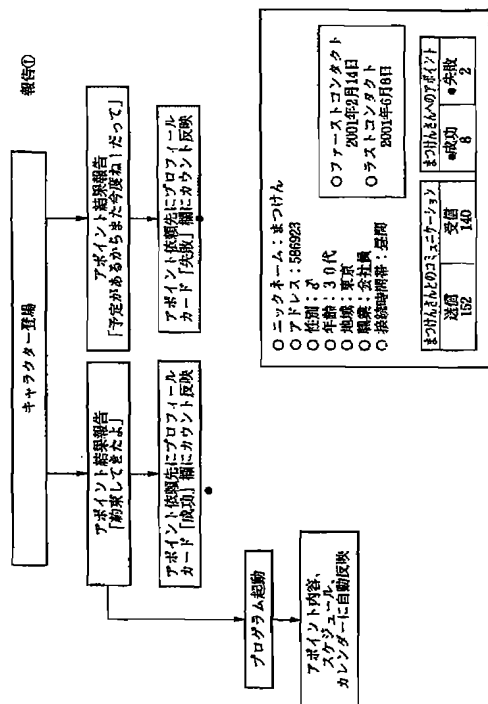
【図 15】



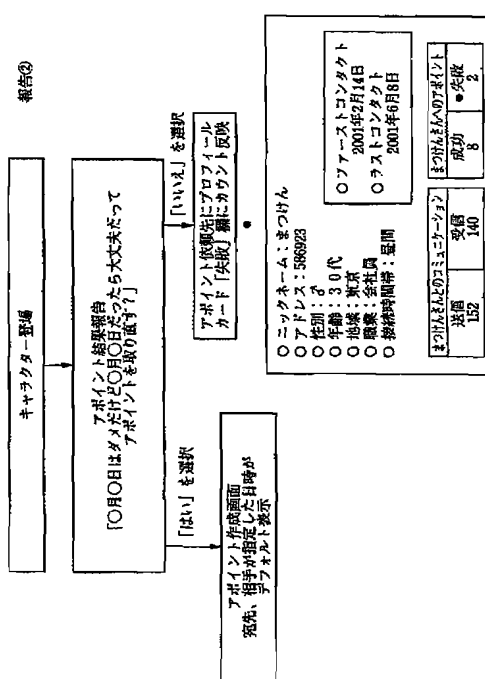
【图 16】



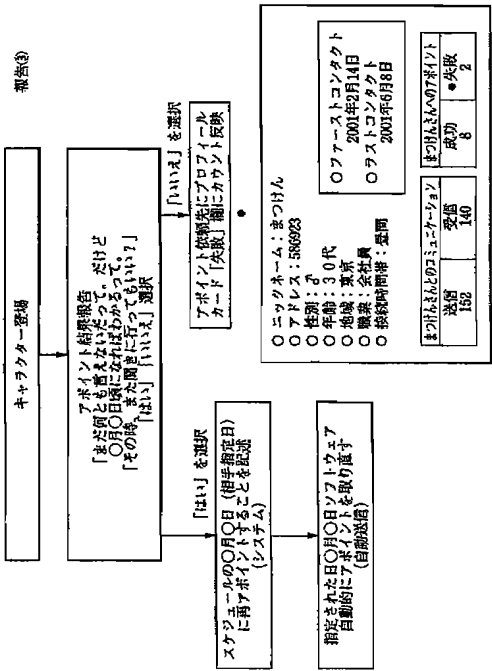
【图 17】



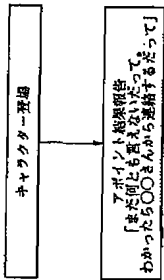
【图 18】



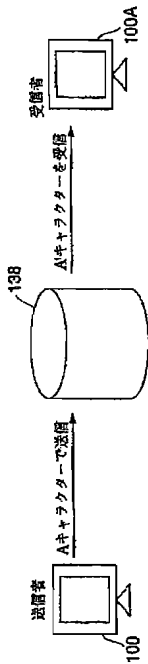
【図 19】



【図 20】



【図 21】



## 【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/JP01/07706
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl. <sup>7</sup> G06F 13/00		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int.Cl. <sup>7</sup> G06F 13/00		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Kobo 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Kobo 1994-2001 Kokai Jitsuyo Shinan Kobo 1971-2001 Jitsuyo Shinan Toroku Kobo 1996-2001		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
	Yaichi WATANABE, "Application Teukai-konashi-Jutsu, 'Manga' de Tsutavaru Kimochi ga aru Comic Mail", Mac Fan internet, Vol. 5, No. 4, Kabushiki Kaisha Mainichi Communications, 01 April, 2000 (01.04.00), pages 102-105	
X	Full text	1-3
Y	Full text	4-5, 10-15
	JP 2000-163337 A (Kyocera Corporation), 16 June, 2000 (16.06.00), Full text; Figs. 1 to 3	1-3
X	Full text; Figs. 1 to 2 (Family: none)	4-5, 10-15
Y	JP 11-272640 A (Kabushiki Kaisha Aqueous Research), 08 October, 1999 (08.10.99), Par. No. [0081], & EP 893308 A	4-5, 14-15
Y	JP 10-254877 A (OMRON CORPORATION), 25 September, 1998 (25.09.98), Par. No. [0011] (Family: none)	10-11
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See parent family annex.		
* Special categories of cited documents:	" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to substantiate the principle or theory underlying the invention " document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone " document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art " document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone	
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art	
"C" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"A" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	
"U" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means		
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		
Date of the actual completion of the international search 15 November, 2001 (15.11.01)	Date of mailing of the international search report 27 November, 2001 (27.11.01)	
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer	
Facsimile No.	Telephone No.	

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/07706

## C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 11-338795 A (Mitsubishi Electric Corporation), 10 December, 1999 (10.12.99), Full text; Figs. 1 to 7 (Family: none)	6-9
Y	JP 2000-20424 A (Class Technology K.K.), 21 January, 2000 (21.01.00), Full text; Figs. 1 to 19 & EP 967548 A	6-9
Y	JP 11-65964 A (Sony Corporation), 09 March, 1999 (09.03.99), Full text; Figs. 1 to 57 & EP 1076506 A	6-7, 9-14
Y	JP 11-149506 A (Casio Computer Co., Ltd.), 02 June, 1999 (02.06.99), Full text; Figs. 1 to 44 & NO 99/26174 A	12-13

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (July 1992)

国際調査報告		国際出願番号 PCT/JPO1/07706	
A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))			
Int. Cl. G06F 13/00			
B. 調査を行った分野			
調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))			
Int. Cl. G06F 13/00			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの			
日本国実用新案公報 1922-1996年			
日本国公開実用新案公報 1971-2001年			
日本国登録実用新案公報 1994-2001年			
日本国実用新案登録公報 1996-2001年			
国際調査で利用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一紙の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
X Y	渡邊ハリー、アプリケーション使いこなし術「まんが」で伝わる気持ちがあるコミックメール、Mac Fan internet, 第5巻 第4号、株式会社毎日コミュニケーションズ、1.4月、2000、(01.04.00)、p.102-105 、全文 、全文	1-3 4-5, 10-15	
X Y	JP 2000-163337 A (京セラ株式会社) 16.6月、2000 (16.06.00) 、全文、図1-2 、全文、図1-2 (ファミリーなし)	1-3 4-5, 10-15	
<input checked="" type="checkbox"/> C種の読者にも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に抵触する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了した日 15.11.01		国際調査報告の発送日 27.11.01	
国際調査機関の名称及び住所 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 藤井 和 5F 9572 電話番号 03-3581-1101 内線 3563	

様式PCT/ISA/210 (第2ページ) (1998年7月)

国際調査報告		国際出願番号 PCT/JP01/07706
C (続き) 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 11-272640 A (株式会社エクス・リサーチ) 8.10月.1999 (08.10.99), 【0081】 & EP 893308 A	4-5, 14-15
Y	JP 10-254877 A (オムロン株式会社) 25.9月.1998 (25.09.98) , 【0011】, (ファミリーなし)	10-11
Y	JP 11-338795 A (三菱電機株式会社) 10.12月.1999 (10.12.99) , 全文, 図1-7, (ファミリーなし)	6-9
Y	JP 2000-20424 A (株式会社クラステクノロジー) 21.1月.2000 (21.01.00), 全文, 図1-19 & EP 967548 A	6-9
Y	JP 11-66964 A (ソニー株式会社) 9.3月.1999 (09.03.99), 全文 , 図1-57 & EP 1076306 A	6-7, 9-14
Y	JP 11-149506 A (カシオ計算機株式会社) 2.6月.1999 (02.06.99) , 全文, 図1-45 & WO 99/26174 A	12-13

様式PCT/ISA/210 (第2ページの続き) (1993年7月)

---

フロントページの続き

(72)発明者 杉山 文彦

千葉県鎌ヶ谷市道野辺中央4-11-25

(72)発明者 松本 健一郎

埼玉県久喜市野久喜215-6

(注)この公表は、国際事務局(WIPO)により国際公開された公報を基に作成したものである。なおこの公表に係る日本語特許出願(日本語実用新案登録出願)の国際公開の効果は、特許法第184条の10第1項(実用新案法第48条の13第2項)により生ずるものであり、本掲載とは関係ありません。